

# 見えない敵に勝つ

北原 巖男 隊友会理事 (元防衛施設庁長官)

中国武漢で確認された新型コロナウイルスは、みるみるうちに我が国を含む地球規模の感染拡散となり、まさに人類に対する深刻な脅威をもたらしています。

4月1日時点でも、世界全体の感染者数は既に90万人を突破、死者数も4万人を超えています。その勢いは収まるどころを知りません。

各国とも拡散防止・患者の皆さんの命を救うため国を挙げて取り組んでいます。外国人の入国拒否等の対外的処置から国民の諸活動の大幅規制・禁止など、各種の厳しい緊急措置を次から次へと日々発動するに至っています。マスコミには、「世界封鎖ドミノ」といった見出しも踊ります。

こうした中、世界中の国々の国民は、その社会活動や経済活動をはじめ日常生活のあらゆる分野で凄まじい打撃を被っています。精神的にも筆舌に

社会復帰を願って24時間態勢で彼らの治療等に懸命に取り組んでいる後輩の自衛隊医療従事関係隊員等の皆さんに、心から力いっぱいの声援を送るうではありませんか。

「頑張れ！頼むぞ！」  
このようなとき、世界的に話題となっているメッセージがあります。多数の感染患者・中国を超越する死者が出ているイタリア・ミラノで感染拡大を食い止めるため休校になった高校の校長先生が生徒たちに送ったメッセージです。既に報道をご覧になられた隊友の皆さんもおられることと思いますが、一部を紹介させていただきます。思い

そんな敵に直面して、私たちは自身の脆弱性に愕然としたことも事実ですが、今私たちは、この敵を完膚なきまでに壊滅させる戦いの真っ只中にあります。

国際的連帯の一層の強化、国内的には専門知識に裏付けされた透明性ある政治的リーダーシップによる時機を失しない政策決定と国民の正しい理解に基づく一致団結した

OBたちによるSELF DEFENSEの率先垂範です。

そして、そんなOBの皆さんから、新型コロナウイルス感染者の皆さんたちの1日も早い完治・

その敵があちこちに潜んでいるかのように感じてしまいが、自分と同じような人々も脅威だと、潜在的な敵だと思いついてしまふ、それこそが危険なのです。

私たちには進歩した現代医学があり、それはさらに進歩を続けており、信頼性もあります。合理的な思考で、私たちが持つ貴重な財産である人間性と社会を守って行きましよう」

連日新型コロナウイルスをめぐる報道が取り上げられる中で、本年も4月を迎えています。隊友、現職隊員の皆さん、みんながみんな希望に胸を膨らませているとは思えないと思えます。思うよう道に進むことができなかった、新しい職場・仕事に希望が持てない、飛ばされた等々。そんなときこそ、史記にある「百里奚は虞に居りて虞亡び 秦に在りて秦朝たり」です。その心は、部下がいくら優秀でも彼を使いこなせる上司がいなければ良い結果を出すことはできない、同一人物に対する使い方如何で部隊や職場の成果は雲泥の差が生ずるといふものです。同時に大切なことは、たとえ現在不遇の身にあつたとしても、決してくさらず逃げない。全力で与えられた任務の遂行に邁進して行く。そうすれば、将来、この時があつたればこそ今の自分があり今の仕事ができる。そんなことを意味していると思えます。

## 時の動き



見えない新型コロナウイルスとの戦いが続く中、自分自身の内に潜むもう一つの見えない敵との戦いに負けてなるものか！です。

(きたはら・いわお)